

東京外かく環状道路とまちづくりに関する連絡会 第 15 回幹事会の開催結果について

1. 会議概要

- 1) 日 時 平成 13 年 11 月 14 日 (水) 午後 6 時 ~ 7 時 30 分
- 2) 場 所 東京都庁第 1 本庁舎 4 2 階北側特別会議室 B
- 3) 内 容 第 14 回幹事会 (平成 13 年 9 月 20 日) の議事確認
道路計画合意形成研究会について
P I 外環協議会 (仮称) 準備会について
最近の主な動きについて
その他

2. 会議の主な内容

1) 第 14 回幹事会の議事確認について

- (事務局) 事務局より説明。
<質疑なし。>

2) 道路計画合意形成研究会について

- (国) 道路計画合意形成研究会は 9 月 14 日 (金) に発足し、10 月 2 日 (火) に第 2 回、10 月 31 日 (水) に第 3 回が開催された。

資料 2 は、第 3 回研究会の配布資料である。

最終的な提言書は、後日出されると聞いている。

提言は、構想段階における P I プロセスの導入や、P I プロセスのうち透明性、客観性、公正さが特に要求されるステップについては、第三者機関が関係行政機関に代わって実施することも考えるべきだとしている。

この提言を受け、最初のモデルケースとして、外環を対象とした第三者機関を、都とともに 12 月上旬頃に設立したいと考えている。

- (区・市) 国土交通省として、研究会の提言をその通り実施していくという意志表明はされたのか。

- (国) この提言を踏まえ、外環 (関越道 ~ 東名高速) に適用していきたいと考えている。

また、通達や事務連絡という形で、本省から各地方整備局に指示があると考えられる。

- (区・市) P I の対象となる市民等の範囲として、影響の及ぶ関係者の全てを対象にするがあるが、ここが重要だと考える。

反対住民ばかりでなく、いろいろな層の住民が対象だという考え方で進めてほしい。

3) P I 外環協議会 (仮称) 準備会について

- (都) P I 外環協議会 (仮称) 準備会については、8 月 6 日 (月) の地元団体との話し合い (第 4 回) において国・都より提案したところであるが、9 月 28 日 (金) に第 1 回、10 月 29 日 (月) に第 2 回が開催された。

第 1 回では、具体的な協議会の運営方法等については、次回、国・都から考え方を示し、それを議論していくことが確認された。

第 2 回では、都議会外かく環状道路建設促進議員連盟の総会における都の作成資料についての議論が行われ、協議会、準備会は信頼関係が基本で、結果として住民からの信頼が損なわれていることは重大かつ深刻なことであり、今後、このようなことがないように努力していくということで総括されている。

現時点では、まだ、具体的な協議会の運営方法等について、議論がされていないという状況である。

4) 最近の主な動きについて

(都) 都議会外かく環状道路建設促進議員連盟の設立総会が、9月28日(金)に開催された。

議員連盟は、4会派の合計80名の会員で構成され、会長をはじめとする役員が選任された。

議員連盟の活動内容として、まず、11月5日(月)に外環に関する現地を視察することになり、会員のうち21名が参加した。

当日は、外環の都内区間の計画地のほか、地下構造の先進事例として、中央環状新宿線の西新宿シールドトンネル、外環の供用中の埼玉区間のうち美女木ジャンクション～大泉ジャンクション、その途中の埼玉県和光市にある、立体道路を活用して住宅が建築されたデュプレ西大和を視察した。

また、11月9日(金)付東京新聞の「東京外環道の凍結検討」という記事掲載を受けて、11月12日(月)に役員が要望活動を行った。

さらに、11月19日(月)には、議員連盟として、外環の都内区間の計画地、供用中の埼玉区間及び事業中の千葉区間を上空からヘリコプターにより視察する予定である。

(区・市) 11月2日(金)に、議会において外かく環状道路建設促進議員連盟が設立され、4会派30名の議員が参加している。

議員連盟の活動として、外環凍結の新聞報道を受けて、議員連盟の会長と副会長3名の4名連名で要望書を発送した。

(国) 新聞報道に「東京外環道の凍結検討」という記事が掲載されたが、実際のところ、個別具体の路線については、まだ、決まっていない。

現在、高速自動車国道の整備のあり方検討委員会で、諸井虔氏を座長に、高速道路整備の全体をどうするか議論しており、その延長線上に個別具体の路線が出てくるかもしれないが、今のところ、決まっていない。

(国) 「計画のたたき台」公表以降、説明会や相談所、ハガキ、コメントカード、Eメール、FAX、電話等で、たくさんの意見が国・都に寄せられた。

これら全ての意見を分類・整理したものを、今回、「みなさんの声」というパンフレットにして配布したいと考えている。

今回、ハガキ等でご意見を寄せられた方、説明会等に来られた方で住所のわかる方には、このパンフレットを郵送しようと考えている。

各区市においても、窓口での配布をお願いしたい。

5) その他

- (区・市) 前々回から繰り返しになるが、現地調査を早く実施するよう強く要望する。首長も、必要があれば用地を提供してもよいという意向である。
- (国) 今年度分として、地域の大気質の現況等を把握するための調査を実施する方向で準備を進めている。
- (区・市) その他、各区・市における最近の動きとして、議会関係では、
- ・「計画のたたき台」に対する首長の考え方について
 - ・大臣発言の「原点」の定義について
 - ・計画の白紙撤回を国等に要望すべきではないか
 - ・高速道路整備計画の見直し問題に関連して、「東京外環道の凍結検討」という記事に対する首長の考え方
 - ・地質調査や環境調査等を並行して進めるべきではないか
 - ・P I 外環協議会（仮称）の設立に関して、メンバー構成や協議会に参加できない一般市民の意見聴取の方法について
- という質疑が行われた旨報告があった。
- また、
- ・外環を扱う委員会から、計画地を上空からヘリコプターにより視察したいという声があり、現在、調整中である
 - ・外環を扱う委員会から、委員会として国・都から説明を受けたいという申出があり、現在、調整中である
 - ・外環に関する委員会で、地元住民との懇談会を開催し、活発な意見交換が行われた
- という報告があった。
- 地元関係では、
- ・計画地周辺の地元町会・団体が主催する個別説明会が開催され、国・都が個別説明を行っている
- という報告があった。
- さらに、外環計画の今後の進め方について、
- ・第三者機関やP I 外環協議会（仮称）準備会等について、今後の進め方が明確に見えない
 - ・地域のまちづくりを検討していくためにも、インターチェンジの有無によるちがいや影響等について明らかにしてほしい
- という意見や要望があった。

【総括】

- 第14回幹事会の議事内容が確認された。
道路計画合意形成研究会について報告された。
P I 外環協議会（仮称）準備会について報告された。